

外国人と日本でともに生きていくためには

土浦第一高等学校 12 班

2 年 D 組 鳥羽美冬 2 年 E 組 永島清香

指導教諭：高田亜紀先生 黒須恭子先生

【要旨】

日本に住む外国人は年々増加しており、街中で外国人を見かけることも多い。しかし、国内では、外国人に対する差別などはまだ残っている。相手の文化に対して無知であることが差別を引き起こす原因だと考え、互いに良い経験や印象を持つこと、そのために文化交流を通して、日本人と外国人のかかわりを増やすことが必要だと考えた。

How can foreigners who live in Japan and Japanese people live together?

Group 12 2-D Toba Mifuyu 2-E Nagashima Sayaka

Supervisor: Takada Aki Kurosu Kyouko

【Abstract】

The number of foreigners who live in Japan has been increasing for years, and we often see them around us. However, there are still some Japanese people who are discriminative against foreigners. We thought the cause of discrimination is lack of knowledge of their culture. So, we believe it is necessary to have good experiences and impressions with each other, and cultural exchange is a good way to achieve this purpose.

1 序論

1-1 研究動機

近年、日本国内における外国人は増加していて(図1、図2)、街中でも外国人を見かけることは多い。また SNS の発達などによってオフラインでの外国との交流も可能になった。私たちも実際にインターネット上で外国の文化を楽しんでいる。このように外国人との距離は近づいているにもかかわらず、SNS 上では外国人に対する差別発言を見かけることがあった。互いに理解を促進するにはどうしたらいいのかと考えて研究を始めた。

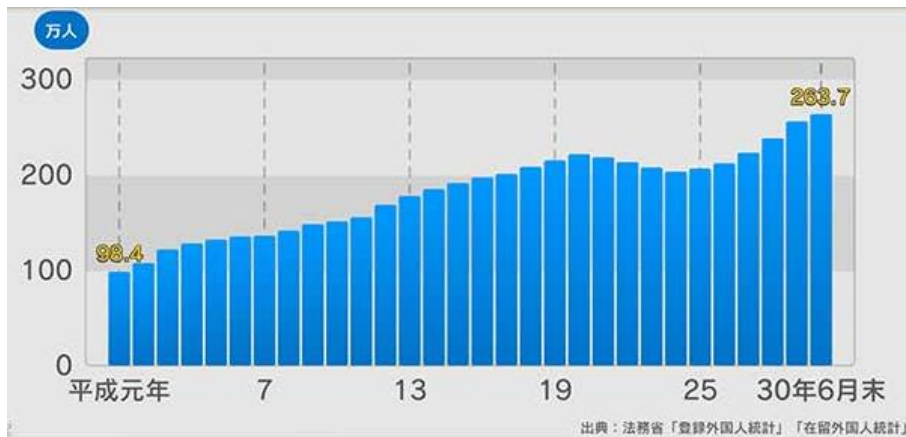
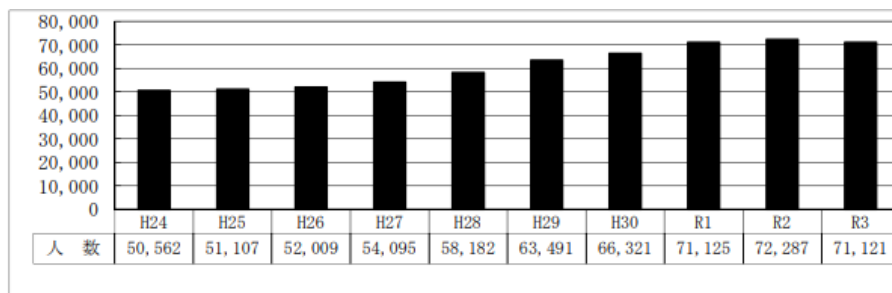


図1 日本国内における外国人人口の推移



注) 平成23年までは登録外国人統計の数値、平成24年以降は在留外国人統計の数値

図2 茨城県内における外国人人口の推移

1-2 仮説

今回の研究の対象とする外国人を観光客などではなく、仕事で日本に長期で滞在する外国人に定めた。互いの理解を促進するために、日本人と外国人が関わる機会を作る、そこで文化交流の機会を作ればよいのではないかと考えた。

2 調査方法

2-1 公益財団法人仙台産業振興事業団にインタビュー

この法人は海外人材と仙台の企業をつなぐプラットフォーム、Morijobを運営している。外国人が日本に長期で生活するにあたっての課題点などを伺う。

2-2 インターネットで日本にいる外国人の経験について調査

日本において実際に受けた差別や日本人との交流について調べた。

2-3 よぎ副校長先生にインタビュー

日本に来てからどのような経験をしたかを伺う。

3 調査結果

3-1 公益財団法人仙台産業振興事業団にインタビュー

インタビューで浮かび上がった外国人を雇う際の問題点は以下の3つであった。

I 衣食住のサポート

II 文化の違い

III 企業が多文化共生を促進するには何らかのメリット（多文化共生を促進することで商品が売れるようになるなど）がないと動いてくれない

3-2 インターネットで日本にいる外国人の経験について調査

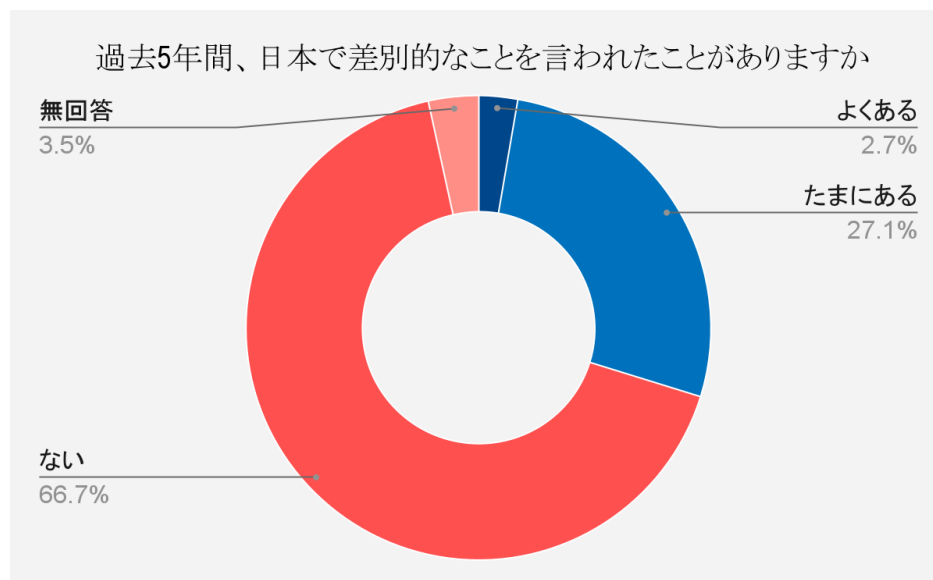


図3 「過去5年間、日本で差別的なことを言われたことがありますか」という質問に対する回答

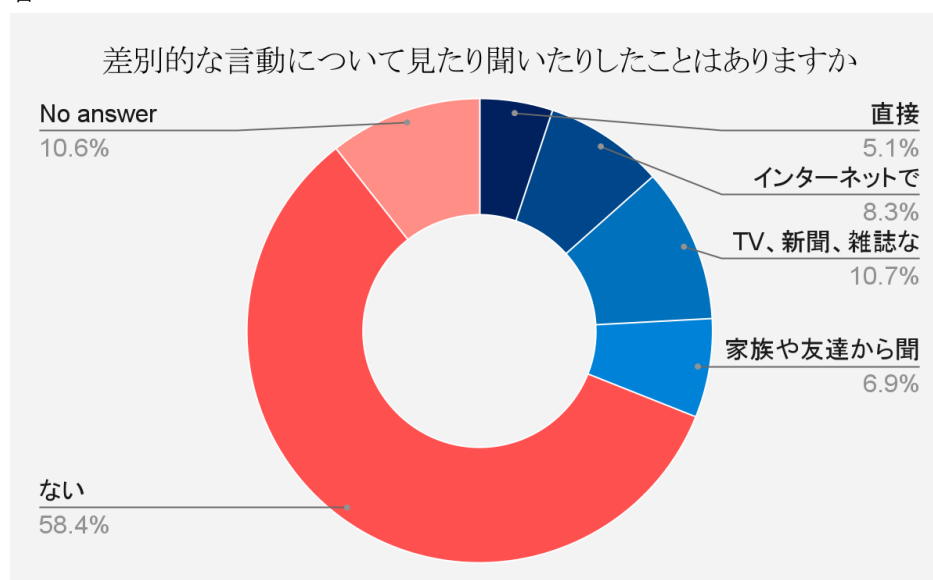


図4 「差別的な言動について見たり聞いたりしたことはありますか」という質問に対する回答
上の図は平成28年度の文部科学省による外国人住民調査に基づいて作ったグラフである。図3において、「よくある」または「たまにある」と答えた人は全体の約30%であった。図4においても、約30%の人が「直接」、「インターネットで」、「TV、新聞、雑誌などで」、「友達や家族から聞いた」と答えた。

そのほか、外国人が日本人にとられた行動の具体例として

- ・外国人だという理由でホテルの予約が取れない
 - ・挨拶をしても無視される
 - ・外国人が住むことができない家がある
- などがあげられる。

3-3 よぎ副校長先生にインタビュー

インドから日本に来たよぎ副校長先生に、日本に来て日常生活で不便であったことや困ったことなどを実体験や教えてもらった。

- ・免許の取り方、保険の加入方法
- ・ゴミの分別、住む上での災害などの対策
- ・子育て、学校への通い方
- ・建物の作りの違い

などがあげられた。人によって日本に来る理由は違うため、それにより一人一人抱える問題はかわってくるが、上記のものはどの人にも該当する悩みであった。

4 結論

私たちは調査 1-1 で分かった外国人を雇う際の問題点の内、文化の違いに着目した。この違いこそが日本人から外国人への差別意識を生み出していると考えたからだ。相手の文化について十分な理解がないと差別を生み、外国人に対して日本の文化を必要なく押し付けてしまうことにつながる。そこで私たちは 3つの解決策を提示する。

4-1 外国人への生活サポート

外国人の日本での生活が確立していない状態では、文化交流はできない。生活のサポートは地方自治体などが行う。

(例) 保険や運転免許証について教える、日本語を教える、ごみの捨て方について教えるアプリなどを利用するのも良い手かもしれない

4-2 文化交流

ここで私たちが提案したいのは、近所や職場などの小さなコミュニティにおける文化交流である。フードフェスティバルなどの大きなイベントだと日本人と外国人の個々のつながりが薄くなってしまうことや継続性に欠けることが理由である。

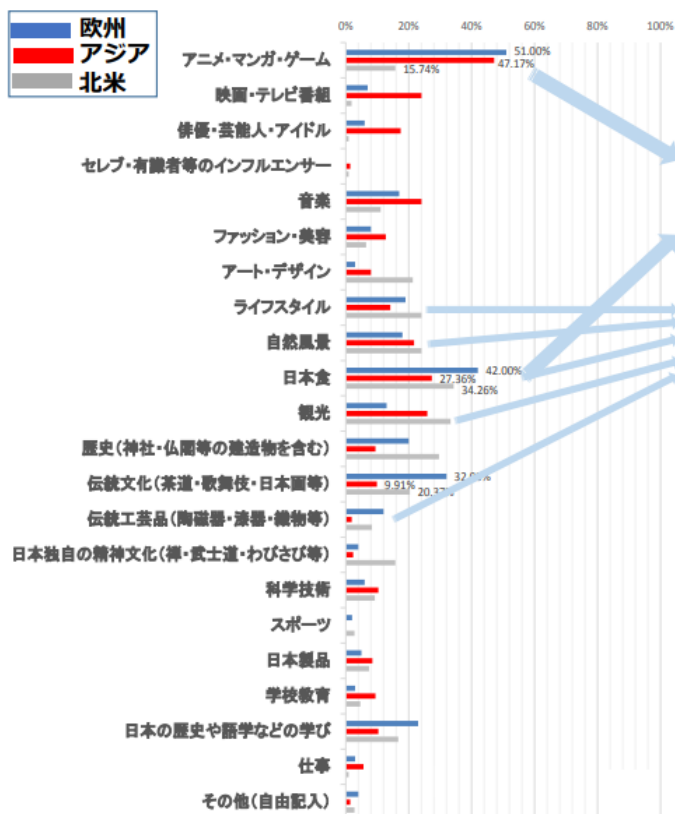


図5 外国人に聞いた興味のある分野

図5は特定非営利活動法人映像産業振興機構が行った調査の結果を表している。図5から分かる通り、「アニメ・マンガ・ゲーム」、「日本食」、「伝統文化」「歴史」などの項目が高い支持を集めている。これらの日本文化を教えて、外国人の母国の文化も教えてもらうという交流会を継続的に行うのがよいと考える。

4-3 学校との協力

親子で日本に住んでいる外国人にとって、問題視されているのが子供より親のほうが日本語が習得できなくて子供の学校との連携が取れないことだ。子供は学校で日本語を学んでいるので、そこで親も一緒に日本語を学べば良いのではないかと考えた。また、学校との協力の観点で言うならば、日本人の子供に異文化についての教育をすることも必要なことだと考える。

5 今後の課題

交流会を開いたところで外国人が積極的に興味を持って参加してくれるかは定かではない。交流会を身近なものにするために、どのように宣伝していくか、頻度などは考えなければならない。

6 謝辞

今回の研究をするにあたってお世話になった公益財団法人仙台産業振興事業団の名古屋様、よぎ副校長先生、その他すべての方にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

7 参考文献

NHK 急増した外国人 共生の時代へ

https://www3.nhk.or.jp/news/special/heisei/view-data/view-data_02.html

法務省 2017年 外国人住民調査報告書-訂正版-

<https://www.moj.go.jp/content/001226182.pdf>

法務省 外国人の人権を尊重しましょう

https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04_00101.html

茨城県 R3.12 末県内在留外国人の状況

https://www.pref.ibaraki.jp/bugai/kokusai/tabunka/jpn/data/documents/01_r312kennaigaikokujin.pdf

Divershop 2022年 それって差別？傷ついた日本人の言動を日本在住の外国人に聞いてみた！

https://corp-japanjobschool.com/divership/interview-foreigners#index_id1

東京福祉大学 2010年 日本における外国人コミュニティの形成と負のスパイラル

<https://gair.media.gunma->

[u.ac.jp/dspace/bitstream/10087/6991/1/%E7%B4%80%E8%A6%81_Vol1No1%E9%A7%92%E4%BA%95.pdf](https://gair.media.gunma-u.ac.jp/dspace/bitstream/10087/6991/1/%E7%B4%80%E8%A6%81_Vol1No1%E9%A7%92%E4%BA%95.pdf)

文化庁 2023年 外国人の日本語教育に関する実態調査

https://www.soumu.go.jp/main_content/000856915.pdf

内閣府 2018年 クールジャパンの再生産のための外国人意識調査

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tyousakai/senryaku_vision/dai3/sankou1.pdf

出入国在留管理庁 2022年 令和4年6月末現在における在留外国人数について

<https://www.moj.go.jp/isa/content/001381744.pdf>